



日本木材青壮年団体連合会 環境憲章

【理 念】

日本木材青壮年団体連合会(日本木青連)は、類まれなる環境性能を有する木質資材を扱う“木財人”として、長期的な視野に立って、更なる地球規模での環境保全に取り組み、循環型経済社会の形成を通じて、人類と森林と地球が調和する豊かな未来に貢献します。

～私たちは、木材が人類共有の財産であることから、その持続的な利活用を目指す会員を“木財人”と称しています～

【基本方針】

1.《木材利用の地球環境貢献》

木材利用の促進を通じて、地球環境に貢献する事業を推進します。

- ①木材製品の炭素貯蔵による地球環境貢献効果を正しく理解し、高炭素ストック社会の形成を目指して、木材利用の促進に努めます。
- ②木材加工の省エネルギー性能を正しく理解し、低炭素排出社会の形成を目指して、更に環境負荷の小さい木材製品と、その生産、流通技術の開発に努めます。
- ③地球上の健全な炭素循環における森林の役割を理解し、木材の持続可能な利用によってその機能が最大限に発揮される観点から、森林による炭素吸収源の拡大に貢献します。

2.《事業活動》

事業活動全般において、環境法令の遵守と一層の環境負荷の低減に努めるとともに、日本木青連会員全体の環境管理レベルの向上を図ります。

- ①有毒物質の適正管理、3Rの推進(リデュース、リユース、リサイクル)による省資源を推進します。
- ②会員への環境教育を推進し、環境保全意識の高揚を図ります。
- ③ビジネスパートナーと協働して、木育活動などの環境保全活動を推進します。
- ④合法木材の利用を推進します。

3.《社会活動》

森林資源の有効な循環利用を通じて地球環境保全を推進します。

- ①木材の利用促進を通じて、循環型経済社会の形成に努めるとともに、持続可能な企業価値向上と会員の社会貢献への意識を高めます。
- ②行政機関、地域、関係団体と連携して、環境保全活動に積極的に参加、支援します。
- ③社会と協調して豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組みます。

4.《情報発信》

正確な環境情報を開示するとともに、フィードバック情報を環境活動の改善に活かします。

- ①環境情報を積極的に公開し、社会との環境コミュニケーションを推進します。
- ②木材製品における温室効果ガス排出量等の「見える化」に努めます。
- ③環境行動計画を公表し、計画的かつ継続的な環境活動を推進します。

制定 2010年 6月19日

日本木材青壮年団体連合会
平成21年度会長

久我 洋一



平成27年度

木 青 連 だ よ り

〔事業報告書〕

長野県木材青壮年団体連合会



平成27年度

木青連だより

目次

ごあいさつ	長野県木青連 会長 田中 俊章	1
平成27年度事業概要		2
平成27年度会議・事業経過報告		4
平成27年度組織図		5
平成27年度出向者		5
一年を振り返って	長野県木青連 直前会長 宮川 秀紀	6
	長野県木青連 会長代行副会長 土倉 宜也	6
	長野県木青連 副会長 田中 雄介	6
	長野県木青連 副会長 寺西 勝	7
	日本木青連連 常任理事 会長補佐 新井 藤弘	7
	日本木青連 常任理事 副会長 小林 稔政	7
	日本木青連 常任理事 専務理事 島田 直政	8
	日本木青連 木育推進委員長 中澤 勝成	8
	日本木青連 木育推進委員会 副委員長 瀧沢 良夫	8
	日本木青連 木材利用推進委員会 副委員長 印出 晃	9
	日本木青連 木育推進委員会 委員 白石 直仁	9
第38回長野県児童・生徒木工工作コンクール実施報告		10
第38回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト		12
信州山の日イベント2015事業報告		17
信州環境フェア2015事業報告		17
会団事業報告	北信木青連	18
	東信木青連	19
	松本材青会	20
長野県木青連理事会議事録		22

ごあいさつ



長野県木材青壮年団体連合会
平成27年度会長 田中 俊章

平成27年度長野県木青連の会長を務めさせていただきました。早くも1年が過ぎてしまいました。本年度は北信越地区の一員として日本木青連の要職へ多くのメンバーに出向していただきました。そして日本木青連の活動を支えると共に長野県木青連の活動も行うという大変な年回りでありました。その様な大変な状況の中でも木青連メンバーに支えていただきながら1年間を何とか乗り切ることが出来ました。年度始めに5人の新会員を迎えて、39人体制ではあるが残っているメンバーは厳しい時代を乗り切った少数精鋭のメンバーであるとの挨拶をさせていただきました。この1年間の活動の中でそれぞれのメンバーが個々の役職の役割を十分に理解して職務に務めていただきました。その活躍を見るにあたりまして現在の木青連メンバーがいかに少数精鋭であるかを改めて実感する事が出来ました。

「木青連ハブ化計画」をスローガンに掲げ、木と社会をつなぐ中心になり情報発信を行うことを目標に1年間活動を行いました。各単会団がそれぞれの地区で木育活動を通じ、木に触れて木の良さを伝える情報発信を行って頂きました。県全体活動でも恒例イベントの木工教室の出展に加え、本年度は一般の方や学校に向けて木の椅子のキットの販売をチラシ等で斡旋し、いくつかの受注をいただくことが出来ました。今後も木青連が木と社会をつなぐ情報発信ができる事業として、さらなるPR活動を行い主力の活動になって行くことを期待します。

また長野県児童工作木工工作コンクールでは、県下全小中学校への早い段階での応募要項の郵送や新聞・ホームページへの募集要項の掲載、またTwitterでの作品募集の自動投稿など、これらが功を奏しまして5,000点を越えるたくさんの応募がありました。昨年よりも作品数は若干ですが減少しましたが、少子化が問題となっている時代に大変ありがたいことだと思っております。今年度は全国の児童工作木工工作コンクール審査会が長野県で開催したこともあり、地元の利を活かして県知事賞と長野県木青連会長賞の5点の作品を送り出しました。結果は2点の作品が全国の審査会で入選する事が出来ました。長野県内の作品もさることながら全国から集められた優秀な作品を目の当たりにして、子どもの発想豊かな木の使い方などに大変関心をすると共に、着実に木育活動として定着していることを改めて実感しました。

しかし木と社会をつなぐ中心になるにはまだまだ情報発信が足りないと思っております。例年の事業を踏襲するだけでなく何か新しい情報発信をしていかなければならなかったと反省をしております。私の力不足で期待に添えなかった事ではありますが、今後の課題として引き続き行ってもらいたいと思います。それらの活動がこれからの木青連の発展に繋がると思うからです。

平成27年度事業概要

長野県木材青壮年団体連合会
平成27年度会長 田中 俊章

会長指針

本年度は長野県木青連に5名の会員が新たに加わるようになりました。

近年は減少の一途をたどっておりましたので、会員の増加は大変喜ばしいことであり業界の後継者が増えることはとても心強いことです。しかし会員が増えたと言っても全体では40名と依然として少人数には変わりがありません。ただ、現在の会員は厳しい時代を乗り越えて残った精鋭ぞろいであると思います。そして少数精鋭になった木青連が何か新しい一歩を踏み出さなければならない時期になったと感じています。

いま木材業界は、国や各地方行政が打ち出している森林や木材利用に関する様々な施策、消費者の環境意識の高まりや木材利用に対する意識の変化などにより、取り巻く環境はいまだ追い風の状態であると思います。この風を上手に利用していくことが今後の木材業界を生き抜いて行くためには必要な要素であることは間違いがありません。

木青連もこの風を上手に利用して活動していく必要があり、会員や消費者に役立つような情報を提供

する事が出来る会でありたいと考えています。そのためには風の吹く方へ、さらには風の吹く中心にしなければなりません。

「木青連ハブ化計画」とは木青連が車輪の中心(=ハブ)的な存在になることで、会員や今まで伝えられなかった人々にも役立つ情報発信ができるようになることを目指します。

木青連ではこれまでに、「木工工作コンクール」や「木工教室」を通して、木の素晴らしさや自然保護の大切さを子ども達や多くの方々に伝えてきました。

この実績を活かして、更に多くの人々に情報発信をして木と社会をつなぐ中心になる役目を担えれば良いと考えています。それが若い世代の集まる木青連が出来ること、期待されていることの一つであると思います。

そのためには、会員同士の交流を深めて お互いの情報を共有する。そして自ら学んで行動し発信する。少数精鋭になった木青連の第一歩はここから始まります。

ともに新しい一歩を踏み出しましょう。

スローガン

「木青連ハブ化計画 ―木と社会をつなぐ中心へ―」

基本方針

1. 会員同士の交流を深めて情報を共有し、個々の会員の資質向上に活かそう。
2. 木青連が中心(=ハブ)的な存在になり、組織内外にコミュニケーションを深めネットワークを広げよう。

事業計画

【1】長野県木青連が基本方針に基づき、会員、単位会団、ブロック並びに関係諸団体と連携して行う会議

- (1) 定時総会
- (2) 理事会
- (3) 県、中部森林管理局、関係団体との懇談会

【2】長野県木青連が主催し、各単位会団、個人会員に協力を依頼して行う事業

- (1) 第56回県会員東信大会
- (2) 第38回長野県児童・生徒木工工作コンクール
- (3) P R カレンダーの斡旋
- (4) 木工教室
- (5) 会員拡大
- (6) 木青連だよりの発行
- (7) 木青連ハブ化計画
- (8) WEBやSNSを活用した会員内交流と情報発信

【3】各単位会団、ブロックが主催し長野県木青連が協力して行う事業

- (1) 木材P R 事業

【4】日本木青連が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 第60回全国会員愛媛大会
- (2) 第40回全国児童・生徒木工工作コンクール
- (3) 第19回日本木青連木材活用コンクール
- (4) ウッディレターの配信
- (5) 総会、理事会、委員会

【5】地区協議会が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 北信越地区協議会会員大会
- (2) 北信越地区協議会

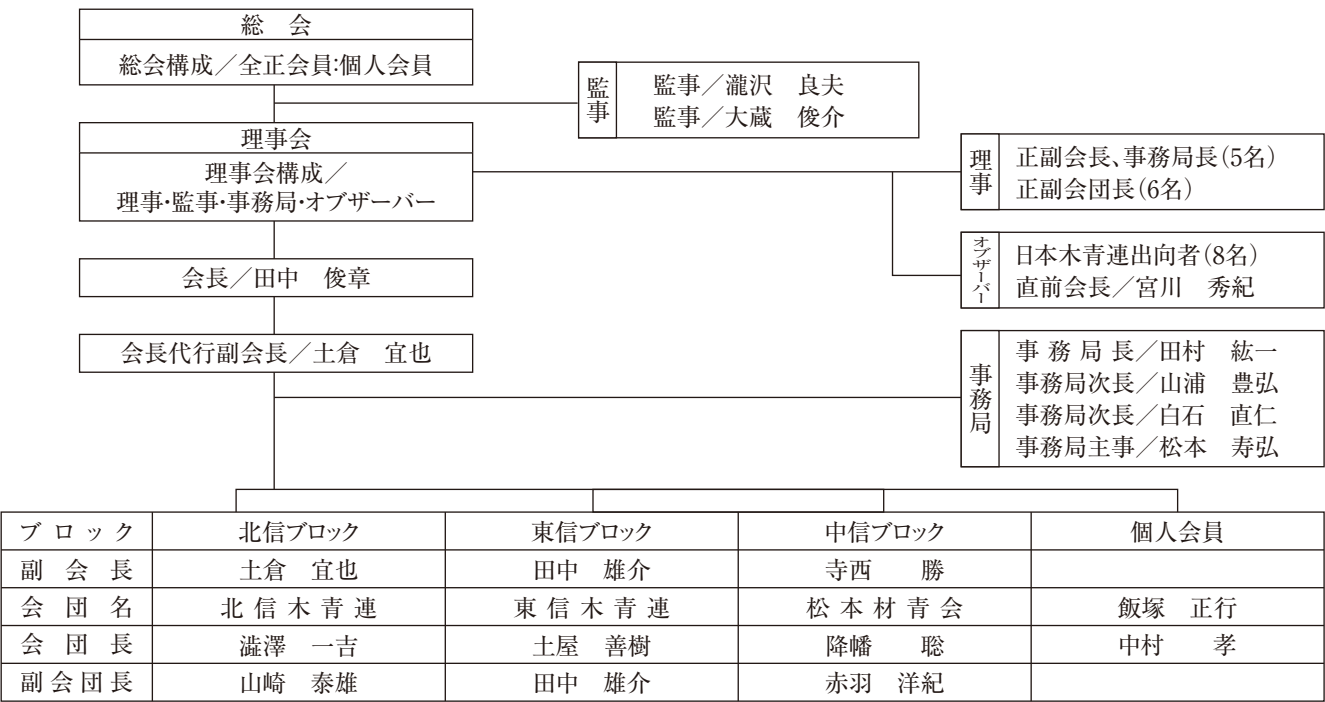
【6】関係諸団体等が主催し、長野県木青連、ブロック、単位会団が協力して行う事業

- (1) 長野県県産材振興対策協議会が主催する事業
- (2) 長野県木材協同組合連合会が主催する事業
- (3) 長野県木材振興基金が主催する事業
- (4) (公財)長野県建築住宅センターが主催する事業
- (5) 県、中部森林管理局等が主催する事業

平成27年度 会議・事業経過報告

3月6日(金)	日本木青連 第1回理事予定者会議	東 京：東京原木会館
3月18日(水)	正副会長・事務局引き継ぎ会議	長 野：林業センター
3月28日(土)	長野県木青連 理事予定者会議	上 田：ささや
4月11日(土)	日本木青連 第1回理事会	東 京：東京原木会館
4月15日(水)	松本材青会総会	松 本：ホテルモンターニュ
4月20日(月)	北信木青連総会	長 野：ホテルメトロポリタン長野
4月24日(金)	長野県林務部と林業関係団体との懇談会 中部森林管理局と林業関係団体との懇談会	長 野：林業センター 長 野：林業センター
4月25日(土)	第56回県会員東信大会	上 田：ささや
5月9日(土)	長野県木青連 第1回定例理事会 北信越地区協議会(長野)	長 野：林業センター 長 野：林業センター
5月22日(金)	日本木青連 第2回理事会	愛 媛：松山全日空ホテル
5月23日(土)	日本木青連 全国四国愛媛大会	愛 媛：ひめぎんホール
5月29日(金)	長野県木材産業政治連盟 総会 県木連表彰式	長 野：ホテル信濃路 長 野：ホテル信濃路
6月12日(金)	長野県県産材振興対策協議会 総会	長 野：メルパルクNAGANO
6月30日(火)	長野県木材産業振興基金 総会	長 野：ホテル信濃路
7月10日(金)	日本木青連 臨時活性化委員会	軽井沢：中央公民館
7月11日(土)	長野県木青連 第2回定例理事会 日本木青連 第3回理事会 日本木青連 金メダリスト特別講演in軽井沢	軽井沢：軽井沢プリンスホテルウエスト 軽井沢：軽井沢プリンスホテルウエスト 軽井沢：軽井沢プリンスホテルウエスト
7月26日(日)	信州山の日イベント 木工教室	小谷村：梅池高原
8月22日(土)	信州環境フェア2015	長 野：若里多目的スポーツアリーナ
8月23日(日)	信州環境フェア2015	長 野：若里多目的スポーツアリーナ
9月19日(土)	日本木青連 第4回理事会 北信越地区協議会 石川大会	石 川：ゆのくに天祥 石 川：ゆのくに天祥
10月23日(金)	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会	松 本：松本合同庁舎
11月7日(土)	日本木青連 第5回理事会	神 戸：神戸国際会館
12月8日(火)	県議会農政林務委員会との懇談会	長 野：長野県議会棟
12月12日(土)	長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式 長野県木青連 第3回定例理事会	東 御：梅野記念絵画館 上 田：ささや
1月16日(土)	日本木青連 第6回理事会	東 京：東京木材会館
1月20日(水)	北信越地区協議会(福井) 全国大会準備委員会	福 井：福井県織協ビル 福 井：福井県織協ビル
1月27日(水)	長野県木青連 第4回定例理事会	長 野：長野県森林組合連合会
1月28日(木)	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会	長 野：長野県森林組合連合会

平成27年度 組織図



平成27年度 出向者

《1》日本木材青壮年団体連合会			《3》長野県木材産業振興基金		
常任理事 会長補佐	新井 藤弘	[東信木青連]	理事	田中 俊章	[東信木青連]
常任理事 副会長	小林 稔政	[松本材青会]	理事	土倉 宜也	[北信木青連]
常任理事 専務理事	島田 直政	[東信木青連]	評議員	田中 雄介	[東信木青連]
常任理事 木育推進委員会 委員長	中澤 勝成	[北信木青連]	評議員	白石 直仁	[北信木青連]
理事 会団長	田中 俊章	[東信木青連]			
木育推進委員会 副委員長	瀧沢 良夫	[北信木青連]	《4》長野県県産材振興対策協議会		
木材利用推進委員会 副委員長	印出 晃	[松本材青会]	理事	田中 俊章	[東信木青連]
木育推進委員会 委員	白石 直仁	[北信木青連]	幹事	田村 紘一	[東信木青連]
《2》日本木材青壮年団体連合会 北信越地区協議会			《5》長野県木材産業政治連盟		
県会団代表	田中 俊章	[東信木青連]	副会長	田中 俊章	[東信木青連]
県会団代表	土倉 宜也	[北信木青連]	委員	土倉 宜也	[北信木青連]
県会団代表	田村 紘一	[東信木青連]			
県会団代表	白石 直仁	[北信木青連]	《6》(公財)長野県緑の基金		
			評議員	田中 俊章	[東信木青連]

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
直前会長

宮川 秀紀

早いもので代行会長を受けてから3年が過ぎ直前会長の役目も無事終えようとしております。次年度は北信越地区の福井にて全国大会が開かれる予定になっており地区全体で業界をより一層盛り上げていかなくてはならない年でもありました。

私自身も木青連に入会して早いもので15年がたちメンバーの中でも上から数えた方が早い年齢にもなりました。その間会員数も減少が続き木青連自体の活動の幅も狭くはなってきましたが少数精鋭のメンバーが多く育ち

これからの業界自体をきっと盛り上げて行ってくれると信じております。

多くの仲間と知り合うことができ本当に楽しく過ごさせていただきました。本当に1年間ありがとうございました。

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
会長代行副会長

土倉 宜也

本年度は田中会長のスローガン「木青連ハブ化計画」のもと、会長代行副会長として木青連活動に携わらせて頂きました。まず、本来ですと会長を代行、補佐する立場にも関わらず、田中会長の力になれなかった事を大変申し訳なく思い反省する次第です。

例会では議長を勤めさせて頂きました。皆様の意見を聞いてまとめ、議事を進行していく議長の難しさを感じました。拙い進行でしたが、皆様のご協力により何とか勤め上げることが出来たことを感謝いたします。

また、担当事業であります「PRカレンダー斡旋事業」は部数、売り上げ共に若干目標には届きませんでした。担当副会

長として例年通りの業務をこなすことしか出来ず、売り上げ増に繋がるPRも少し行動が遅かったと反省しております。

何れにいたしましても、執行部、理事、そして会員の皆様に支えられ何とか一年間活動させて頂く事ができました。本当にありがとうございます。

来年度は長野県木材青壮年団体連合会の会長として会を引っ張る存在にならなければなりません。会員の減少により各会員への依存や負担が大きくなって来ていますので、何かアクションを起こさなければならないと感じております。会員の皆様には本年度以上にご協力頂かなくてはならない事もあるかと思いますが、お力添えを賜りますようお願い致します。一年間ありがとうございました。

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
副会長

田中 雄介

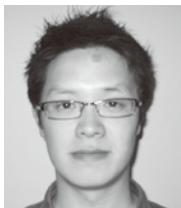
「木青連ハブ化計画ー木と社会をつなぐ中心へ」をスローガンに田中俊章会長の下、本年度 財務担当副会長を務めさせて頂きました。

私事ですがこの木青連に入会して20年になります。入会当時の事を思い浮かべると、長野県木青連全体の会員数は今年度の.倍以上の会員が在籍して活気があるように見受けられましたし、県理事会はもとより副会長の職務とは雲の上の存在に感じていました。

田中会長を始め執行部、事務局また理事の皆さんに助けて頂いて、何とか一年間頑張れました。この場をお借りし

て厚くお礼申し上げます。さて、ここ数年、木材業界の景気低迷や会員の減少が影響している木青連ですが、今年度財務担当し思うのが、年々予算繰りが厳しくなっている現状が上げられますが、木材業界に理解を得て会員の拡大また、休会団の復会を今後の重要課題で進めていく必要性があると思います。そのためには、田中会長の指針にもあります会員や消費者に役立つような情報提供する会として今後も活動を積極的に頑張っていくことが必要かと思っておりますので、全会員が一丸となり木材界を発展させましょう！

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
副会長

寺西 勝

本年度は田中会長のもと、木工工作担当副会長として一年間活動させて頂きました。

主な活動内容は長野県木青連の活動の中でも一番大きな事業「長野県児童・生徒木工工作コンクール」です。長野県全域の小中学校150校、5,062作品もの応募を頂きました。

昨年より若干の減少はありますが、たくさん作品のご応募をいただき大変嬉しく思っています。どの作品も創造性豊かで、木材を生業としている私達に新鮮さと驚きを与

えてくれます。また、全国審査会出展作品から「林野庁長官賞」「日本木材青壮年団体連合会 会長賞」頂くことができました。

今年度各学校に木工工作コンクールの資料送付時に、イスキット販売のチラシと一緒に入れさせて頂きました。実績はまだまだですが数多くの問い合わせを頂きました。学校の教育の現場でも、木に触れ合う事への関心の高さが分かりました。来年度以降も継続して頂き、事業として成り立つように改良して行ってもらえればと思います。

最後に、各地にて作品の審査・集計、審査会への作品持ち込みなど様々な面でご協力頂き、ありがとうございました。この場をお借りして心より感謝いたします。

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向常任理事 会長補佐

新井 藤弘

平成27年度は下荒会長を選出するにあたり関わりを持っていた関係もあって会長補佐を受けさせて頂きました。一年に渡り活動をしてきましたが、今年度の日本木青連の常任理事のみなさんは近年の中でも特に優秀な方が多く、会長補佐としてほとんど出番がなくて事が足りてしまったのでそれはそれで充実した一年だったのかもしれません。出番がありません

と言ったら？ですが出席率で頑張らさせて頂きました。どうにか日本の理事会はすべて出席でき、地区大会も北海道と九州を除き参加することができました。

ただ残念なことと言えば長野県の理事会等の行事にあまり参加できなかったことです。当年度の長野県の会長が東信木青連の選出だっただけに余計そういった気持ちになります。

最後に、皆様の温いご指導ご鞭撻のお蔭で、この一年でいろいろな意味で成長させて頂いたと思っております。長野県木青連のみなさんと、常任理事をはじめとする日本木青連みなさんにお礼を申し上げて、閉じさせていただきます。一年間ありがとうございました。

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向常任理事 副会長

小林 稔政

本年は日本木青連において副会長という要職を仰せつかり、理事会、地区大会など遮二無二走った一年でした。

私は木育推進委員会と全国大会実行委員会の担当でした。そして木育推進委員会の委員長は中澤君が担当でした。同じ年の私が言うのも変なのですが、自身で経験不足を感じられた分、前委員長からしっかりと引き継ぎをし、初めての理事とは思えないほど、委員長を見事に勤め上げられ、私としては彼のフォローに終始しました。

特筆すべきは島田専務理事の行動力がきっかけで、林野庁H26年度補正予算の「木造住宅等地域材利用拡大事業」を受託することになり、私も特別委員会委員としてお手伝いをし「ウッドストーリー 2015」と言う冊子を全国の小中学校に寄贈できたことは良い思い出になりました。また林野庁H27年度事業「木づかい協力業者による木材利用の促進事

業」を私も理事を務めるJBNなど他団体と連携し受託でき、国産A材需要の拡大を図りました。行きがかり上なぜか私が事例発表したのですが、多くの学びとご縁を得ることが出来ました。

この一年を通し、改めて感じたことは、長野県木青連のメンバーの底力です。田中君は会団長理事として先頭に立って頂きました。ご苦労が多かったと思いますが改めて感謝をします。また、出向者であれ出向していないメンバーであれ、様々な場面で日本木青連ならびに北信越地区のサポートをして頂き感謝に堪えません。

長野を遠く離れた地で長野県木青連のメンバーと会うとすごく安心したことを覚えています。そして陰に日向に支えて頂いた共立プランニング日野原さんと松本主事にも感謝を申し上げます。

最後に平成27年度の活動も残すところ全国大会のみとなりました。私も本当に最後の担当になります。こここで有終の美を飾れるよう最後まで全力で務める所存です。

今年一年本当にありがとうございました。

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向常任理事 専務理事

島田 直政

日本木青連への出向4年目の今年は兎に角、全国を駆け巡り、業界活動を一心不乱に行った年でした。専務理事という役職を仰せつかり、6回の理事会と8回の地区大会に参加しました。林野庁H26年度補正予算の「木造住宅等地域材利用拡大事業」を受託し、木材利用、木材活用のPRに励み、もう一方で林野庁H27年度事業「木づかい協力業者による木材利用の促進事業」を他団体と連携し受託、国産A材需要の拡大に取り組みました。

このような活動ができたのも、長野県木青連の仲間が支えて頂いたおかげだと、深く感謝しております。皆さん、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向 木育推進委員長

中澤 勝成

今まで委員会もほぼ経験がない中で、委員長が務められるのか大変心配でしたが、「木工工作ではどの県にも負けるわけにはいかない」という気概を持ってスタートを切りました。本年度は第40回を迎える節目の年という事もあり、何か足跡を残したいと考えていた所、タイミング良く林野庁の補助金を受ける事ができ、「ウッドストーリー 2015」を40回記念誌として全国の小・中学校約30,000校に寄贈する事業を行う事が出来ました。その際には、共立プランニング日野原さんには多大なるご協力とご苦勞をおかけしましたがお陰様で無事終了すること

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向 木育推進委員会 副委員長

瀧沢 良夫

27年度全国木工工作審査会も3月に長野市にて委員長中澤勝成の指示の基無事終了しまして、のこすところ全国会員福井大会をのこすのみとなりました。

今回の委員会活動は例年通り行われましたが、日本木工工作委員会メンバーが若杉会3名で構成しており(委員長、副委員長、委員)、打合せの集会が数多く行われました。おかげさまで、事前準備、前夜祭、当日の審査会など大

この一年を通し、改めて感じたことは、「木材利用のPR活動」の大切さです。特に、子供たち、次世代へのPR活動です。長野県内でも、多数行われていますが、木工教室や木育イベントは、活動としてとても地味です。しかし、このような活動が、私たちが生業としている木材業の根幹を担っていると強く感じました。

今年は、長野県木青連の活動にはなかなか参加できなかったのですが、来年からは、地元でしっかりと木材PR活動に励んでいきたいと思います。

最後に、H27年度の北信越地区が日本木青連という船の舵取りを行うのも、残すところ全国大会のみとなりました。年々会員も増加傾向にあり。日本木青連の存在が脚光を浴びています。長野県木青連関係者の皆さん、北信越の今年度の集大成の全国大会を是非、盛り上げてください。この勢いに乗って木材利用のムーブメントを起こしましょう。

が出来ました事を感謝いたします。また、15年ぶりに長野県で木工工作コンクール審査会を開催した際には、メンバーの皆様にお力添えいただいたおかげでこちらも無事終了することが出来ました事を感謝致します。

新年度になるわけですが、最後の仕上げ全国大会での表彰式が残っているので、まだ気を緩めるわけにはいかな状況にあります。表彰式の際にも皆様のお力添え無くして成功はあり得ませんので、最後までご協力頂きます様お願いいたします。

最後に、以前ある先輩から「全国にはいろいろな人がいるから是非1度は日本に出向した方が木青連をやっている意味があるぞ」と言われた事が有りましたが、1年間フルに関わってみてその意味が分かったような気がしました。まだ出向経験がない方は是非1度出向してみてください。仕事・自己啓発様々な部分で必ず得るものがあると思います。

きなトラブルもなくスムーズに行えたと思います。これも地元長野県のメンバーの協力があつてのものだと思います。長年日本木工工作委員会に出向していますが、長野県における全作品出店数がほぼ毎年全国の上位をキープしていましたが今回は他の県に上位を譲ることになりました。残念という思いと複雑な思いで審査会に臨みました。

今回、審査委員長が任期のため交代しましたが、受賞される作品はほぼ例年と同じ結果となりまして、選ばれる基準がだいたい決まっているのかなと思いました。

そして本番は全国会員福井大会です。木工工作委員会もまだこれから大会に向けての打ち合わせなどで気が抜けない状況ですが、メンバーと共にがんばっていききたいと思います。

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向 木材利用推進委員会 副委員長

印出 晃

今年度は、昨年度に引き続き日本木青連へ木材利用推進委員会の副委員長として出向させて頂きました。

木材推進委員会では、以下のような活動を行っています。
1) 木材普及・推進に関する活動及び情報発信
2) 政策提言部会の活動支援
3) 「環境憲章」及び「環境行動計画」の周知・普及の徹底
4) PRカレンダーの企画、販売、等
5) 木づかいCO2固定量認証制度普及の検証(環境問題対策)
6) 行政との研修企画(情報交換会)

中でも主要となるのが、PRカレンダーと木づかいCO2固定量認証制度普及です。カレンダーは紙のカレンダーと木製カレンダーを扱いました。木製カレンダーはその年の会長の地元の木を使って製作するもので、毎年集めれば日本中の木の標本にもなります。今年はおかげさまで、予定部数を例年よりもかなり早い時期に完売となりました。ご協力いただいた方、有難うございました。

もうひとつの柱が、木づかいCO2固定量認証制度です。木づかいCO2固定量認証制度とは、樹木(木材)が二酸化炭素(CO2)を吸収し、炭素(C)を貯蔵(固定)する機能を持つ

一年を振り返って



平成27年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向 木育推進委員会 委員

白石 直仁

この一年間、私としては初めて長野県木青連からの出向者として日本の理事会に出席参加させて頂き児童・生徒木工工作コンクールを担当する木育推進委員を務めさせて頂きました。

木育推進委員には長野県から私の他、中澤委員長、瀧沢副委員長がおりましたので、出向者1年目の私に大役を任される事は無く、二人のサポート役として児童・生徒木工工作コンクールに参加させて頂きましたが、それでも本年度は「第40回」という節目の年であり、また全国審査会が地元長野で行われた事もあって、平役ながらもそれなりに忙しく活動参加させて頂きました。

委員を務めさせて頂いた間、私は多くの先輩方、会員の皆様方から叱咤助言を頂いた訳ですが、その助言が概ね、「児童・生徒木工工作コンクールが多くの人達が参加された長い歴史を持つイベントであるのだから必ず成功させるように」といった重いもので、若輩はただ重圧に押しつぶされることのない様に中澤、瀧沢両名にしがみつकिながら学

という地球環境貢献効果を正しく普及し、日本国内での建築物等に木材の利用促進をはかるため、木材(国産材・外国産材に問わず)の利用量に応じた 二酸化炭素吸収量 及び 炭素固定量(「木づかいCO2固定量」)を全国区において、認証する制度です。

この制度により、日本国内における木材の積極的な利活用を誘導・促進することで二酸化炭素の吸収・炭素の貯蔵(固定)をはかるとともに、木材需要拡大と国内などの森林整備(森林再生・林業再生)の促進による二酸化炭素 吸収量の増大をはかり、地球温暖化防止に貢献することを目的としています。

今年は第一回マイスター会議を開催しました。木づかいCO2固定量認証制度に伴う木材炭素固定量マイスター資格の試験を毎年実施していますが、2011年に始まった制度をもう一度見直し、更に認知してもらい、利活用されるにはどのように取り組むべきかについて、活発な意見交換がなされました。先ずは会員の皆さんにこの取り組みを認識していただき、今後の日本木材青壮年団体連合会の今後の発展に結びつけていって頂ければと思います。

ばせて頂きました。
本年度、長野県から5千点を超える木工工作作品がエントリーされその中から日本の審査会で2点受賞されましたが、エントリー数では残念ながら奈良県に及ばず、全国では2位の出展数に留まりました。もっと委員として木工工作コンクールをPR出来ていたら、と反省しております。

子供たちが遊ぶおもちゃや学校教材の多くがプラスチック製の現在、木に触れる機会が年々減少している様に感じますが、子供たちが持っている想像力、独創力はこれからの時代に必要なものと思います。木工工作を通じて子供たちが木で遊び、木に学び想像力、独創力を育てる手助けに(微力ながらも)委員として参加出来たことに感謝し、次年度も木青連活動に尽力して参りたいと思います。

第38回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主 催】 長野県木材青壮年団体連合会
【共 催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会
【後 援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、a b n 長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対 象 者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

【応募基準】 (1) テーマ／自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)
(2) 大きさ／タテ・ヨコ・高さ それぞれ75cm以内とする。
(3) 締切り／平成27年9月11日(金)
(4) 送り先／最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】	年 月 日	場 所	内 容
	平成27年 6月下旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付各関係機関へ依頼書送付
	7月～8月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中)各材料の提供配布は地元会員が手配
	9月11日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
	9月12日～10月2日	県下全域	各地区審査会を実施
	10月23日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
	10月23日～30日	松本市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示
	11月24日～27日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁講堂前にて展示
	12月12日	東御市	東御市「梅野記念絵画館」にて表彰式
	平成28年 2月28日	長野市	全国児童生徒木工工作コンクール審査会に作品出展
	6月11日(予定)		全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

【審 査】 <基準>
各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。
また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行った。
・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
・木の持味を生かし独創性に優れていること。
・機能、デザインが優秀であること。
・工作技術が優秀であること。

【審査会】 平成27年10月23日(金) 松本合同庁舎(502会議室)



本年度より趣意書と共にこちらのチラシを配布し、木育推進に努めた

【審査員】 審査委員長 長野県総合教育センター 専門主事 倉澤 啓 様
審査委員 長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室 技 師 日詰 究 様
中部森林管理局 中信森林管理署 次 長 宮澤 昌弘 様
(公財)長野県緑の基金 常務理事兼事務局長 菅谷 幸博 様
長野県県産材振興対策協議会 理 事 徳原 敏昭 様
長野県木材協同組合連合会 理 事 長 細川 忠國 様
長野県木材青壮年団体連合会 会 長 田中 俊章 様
長野県木材青壮年団体連合会 直前会長 宮川 秀紀 様
長野県木材青壮年団体連合会 代行副会長 土倉 宜也 様
長野県木材青壮年団体連合会 副 会 長 田中 雄介 様
長野県木材青壮年団体連合会 副 会 長 寺西 勝 様
計11名

【審査風景】



【展示風景】 平成27年10月23日(金)～10月30日(金) 松本合同庁舎1階ロビー
平成27年11月24日(火)～11月27日(金) 長野県庁1階講堂前広場



【表 彰 式】 平成27年12月12日(土) 東御市「梅野記念絵画館」



外部審査委員(左から)
長野県木材協同組合連合会 細川理事長 様
中部森林管理局 中信森林管理署 宮澤次長 様
長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室 日詰技師 様
長野県総合教育センター 倉澤専門主事 様
(公財)長野県緑の基金 菅谷常務理事兼事務局長 様

第38回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
神の使い 竜神様	河田 朋輝	岡谷市立長地小学校	3年
森の小人ミードとドーリ	高良 一成	茅野市立玉川小学校	5年
クローバーのテーブル※1	北島 瑞季	原村立原中学校	2年
マイ本立て※2	中村 竜太	長野県木曽養護学校	中学部3年

※1：林野庁長官賞（中学校の部） ※2：日本木材青壮年団体連合会 会長賞

2. 長野県教育委員会賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
リスと森の時計台	馬宮 誠洋	原村立原中学校	3年

3. 中部森林管理局長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
くわがた	清水 咲乃	上松町立上松小学校	1年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
春の草花	小林 礼乃	南木曽町立南木曽小学校	5年

5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
	掛川 聖乃	佐久市立中佐都小学校	3年

6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
彫刻	中澤 裕輝	伊那市立西春近南小学校	6年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
つりばし	向山 恭平	茅野市立宮川小学校	3年

8. 優秀賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
水車小屋	一之瀬大翔	上田市立長小学校	5年
ついたて	柏原 伶次	東御市立柵津小学校	6年
ヘビ	齊藤 友仁	御代田町立御代田南小学校	3年
ミミズク	宮坂 翔吾	小諸市立水明小学校	3年
たか	大井 晴希	小諸市立千曲小学校	5年
森のハーモニー	倉島 仁	小諸市立水明小学校	5年
木工カレンダー	猪又 すず	小谷村立小谷小学校	3年
ダンブトラック	渡辺 映多	茅野市立北山小学校	3年
諏訪湖の四つ手あみ	林 実緒	下諏訪町立下諏訪北小学校	4年
木の葉	牛尼 明莉	茅野市立豊平小学校	5年
ざるそば	福澤 茉月	伊那市立伊那小学校	4年
おばけやしきめいろ	徳原 基充	上松町立上松小学校	2年
ひまわりの花	笠木原涼菜	南木曽町立南木曽小学校	2年
ひのき花	鈴木 快步	南木曽町立南木曽小学校	6年

□第38回長野県児童・生徒木工工作コンクール内訳

総 参 加 人 数		5,037 名
参 加 学 校 数	小学校	146 校
	中学校	3 校
	盲・ろう・養護学校	1 校
合 計		150 校

審 査 会 出 品 数	86 点
入 選（左記の1～7）	10 点
優 秀 賞	14 点
佳 作	484 点
努 力 賞	4,554 点
総 作 品 数	5,062 点

最優秀賞（長野県知事賞）

神の使い 竜神様

岡谷市立長地小学校3年 河田 朋輝

夏休みのべん強をなぜ木工工作にしたかと言うと、ぼくは、作る事が大好きだからです。

なぜりゅうを作る事にしたかと言うと、お寺に行ったら、木で作ったりゅうがかざってあり「カッコイイナー」と思ったからです。

りゅうを作るってきめたので、おじいちゃんの山に材料を集めに行きました。集めた材料はどう体につかった流木と目につかったくると角につかったえだと、うろこにつかった木のかわを集めてりゅうを作りました。どう体は、足をボンドでくっつけて、目はくるとを火でやいてボンドでくっつけました。角は、同じ太さに切りました。うろこは、はさみで切ってせなかにボンドではり付けました。

一番大へんだったのは、うろこを一まい一まいたてて、ていねいにボンドではり付けた所が一番大へんでした。

さいごに作ってみた感想は、大へんだったけどうまくできたのでよかったです。



最優秀賞（長野県知事賞）

森の小人ミードとドーリ

茅野市立玉川小学校5年 高良 一成

夏休みの宿題で森の小人を作ることになりました。前にお兄ちゃんが作っていて、とてもおもしろそうだったからです。

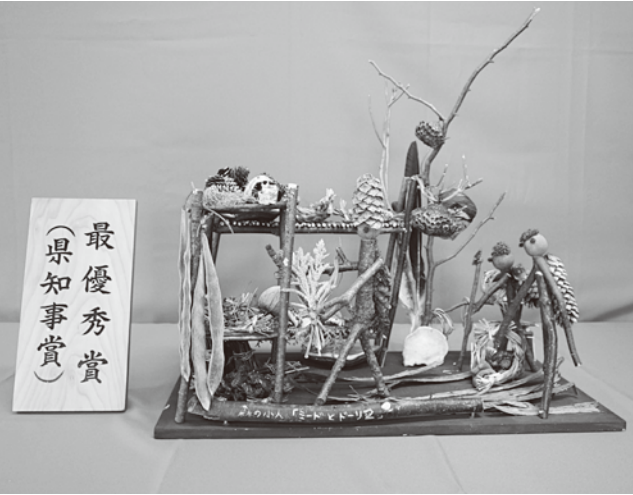
まず、山へ行って材料(枝、松ぼっくり、どんぐり、実、せみのぬけがら)などを拾ってきました。それとぼくが集めためずらしいはちの巣やせみの虫も用意しました。使う道具はペンチ、釘、鉄のかなづち、木のかなづち、ボンド、ノコギリなどです。

次に台の色ぬりをします。台はD2でお父さんに買ってもらいました。茶色の絵の具でぬりました。それから木の枝でお母さんと子供2人を作りました。ここが一番むずかしかったです。

最後に小人用のかざりをたくさん作りました。小人用のたなは小枝を集めて作り、板にボンドで取りつけました。作ったかざりは、キノコ、はしご、木の実、ほうし、マント、かご、お皿、タカの羽、

ほうきなどを作りました。小さかったのととてもむずかしかったです。

ぼくのミードとドーリもうまくできてよかったです。



最優秀賞(長野県知事賞)・林野庁長官賞(中学校の部)

クローバーのテーブル

原村立原中学校1年 北島 瑞季

私は最初、テーブルを作ろうと考えていました。そしてどのような形にするかを考えていた時に、ただ一つのテーブルではなく、一つのテーブルとしても、三つのテーブルとしても使えるものを作ろうと考えました。

形はクローバーがいいと最初から思っていたのでクローバーにしました。

小さい机を四つ作るため、糸ノコギリなどを何回も使ったので、うでが筋肉痛になりました。

自分の思ったとおりにつくることができて良かったです。



最優秀賞(長野県知事賞)・日本木材青壮年団体連合会 会長賞

マイ本立て

長野県木曽養護学校 中学部3年 中村 竜太

私は、『働く学習』の作業の時間にこの『マイ本立て』を作りました。作ると聞いた時に、「きれいに作りたいな、楽しみだな」と思いました。

穴あけでは、鉛筆の印にドリルの先がくるように、ずれないようにと気をつけました。手で板を触りながら、ツルツルになるまでやすりをしました。サンダーは一気にできて早くて便利だなと思いました。失敗しないように、鉛筆の線がギリギリ消えないように気を付けて板の角をベルトサンダーで丸くできました。ネジをドリルで、板と板がピッタリになるように組み立てました。

塗り残しがないように気を付けてオイルも塗りました。完成した時は「完成したな!」と嬉しかったです。

三年生の友だちと一緒に作業したり、浅漬けとお茶で休憩したり、思いでいっぱいの作品になりました。



長野県教育委員会賞

リスと森の時計台

原村立原中学校3年 馬宮 誠洋

私は、今年の夏休みに、木工で時計をつくりました。私は3年間木工で時計をつくっていました。今年の作品は3年の間で一番良い作品になりました。今までの時計は、平面な時計でした。それに対し、今年の時計は、立体的な時計に仕上げました。また、飾りにも工夫を加えました。リスや机など、飾りにも立体的に仕上げました。

また、時計の形は木の形にしたのですが、木の表情を表現するのにとても苦労しました。

また、塗装もとても難しかったです。むらがないように注意して塗りました。時間も、今までより多くかけて仕上げました。

この作品は、3年間の作品の中で一番良い作品になりました。今までの作品より工夫をして、手間をかけて、作りました。今回で最後なので、木工はできませんが、最後にふさわしい作品になったと思います



中部森林管理局長賞

くわがた

上松町立上松小学校1年 清水 咲乃

なつやすみに木でこうさくすることになりました。もってきた木のなかに、つのみたいな木がありました。だから、くわがたをつくろうとおもいました。どんなかたちだったかこんちゅうずかんをみました。あしのながさをそろえるために、のこぎりで木をきりました。まっすぐきるのがむずかしかったです。

はねのところは、木のかわがちょうどよかった。つのや、あしをボンドでくっつけようとしたらとれてしまった。おとうさんがくぎをもってきてくれました。うごくあしができました。ずかんのくわがたは、めがピカピカでした。おとうさんのもっていたネジがぴったりだったので、めになるようにネジをつけました。

さいごに、くろいろのスプレーでくろくぬったら、ほんものみたいなくわがたができました。



公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

春の草花

南木曽町立南木曽小学校5年 小林 礼乃

夏休みの木工工作で、「春の草花」を作ろうと思った理由は、春は花が咲き始める季節で野原がきれいだからです。

うすい木でタンポポ、オオバコ、スミレ、クローバーの葉とクマバチの羽を作りました。うすい木はわれやすく、切る時に苦労しました。特にクローバーの葉は小さくて数も多いのでわれないように細かいところまで気をつけてたくさん作りました。くきをつける時、なかなかクローバーがくきにつきませんでした。

つくしは頭の部分は家にあった松ぼっくりをかんそうさせ、はかまの部分は木の皮を山形に切って木につけて作りました。タンポポとオオバコとスミレの葉をくっつけるのが大変でした。ハチはパーツを組み合わせました。

作っていると細かくていやになりそうでした。でも最初に思ったとおりに作ろうと最後までがんばりました。



長野県産材振興対策協議会 会長賞

いかくしているカマキリ

佐久市立中佐都小学校3年 掛川 聖乃

わたしがカマキリを工作にしようと思ったきっかけは、外ですごく大きなカマキリがいてびっくりしましたが、とてもカッコいいし強そうだったのでカマキリを作ってみようと思いました。

作りだしてみてもうしたところはカマキリの足をあまり曲げすぎでしまうと足の形がおかしくなってしまうので少しずつ曲げてみたり、お母さんに手つだってもらってライターで少しずつあたためて曲げていきました。そのおかげで足の部分もうまく曲がって本物のカマキリのような足の形になってよかったです。

とてもくろうしたところも多かったけれど、さいごまであきらめないで作れてよかったと思いました。出来上がった作品をお友だちや家族にほめてもらってうれしかったです。これからもいろんな作品を見たり作ったりして、またしょうをとれるようにがんばりたいと思います。



長野県木材協同組合連合会 理事長賞

彫刻

伊那市立西春近南小学校6年 中澤 裕輝

ぼくは、夏休みの自由研究で得意な工作をしようと思いました。大好きな工作の中で、母にすすめられた彫刻に挑戦しようと思いました。ぼくの祖母の知り合いにプロの彫刻師のおじさんがいるので、そのおじさんに彫刻を教えてもらうことになりました。

ぼくには、彫刻の技術などありませんでした。しかし、彫刻の技術を学ぶことにとても興味がわきました。

ぼくはまず、木を集めておじさんの所へ行きました。おじさんは、ぼくにていねいに教えてくれて仕上げの塗料もとても良い物を用意してくれていました。

彫刻を彫る時おじさんがといで刃がするどくなった三十センチほどの彫刻刀と木づちを使って彫っていきました。たまに彫りすぎてしまった所もあったけれどおじさんが彫りすぎた所を目立たなくして助けてくれました。たまに手が痛くなったけれど仕上がっていくうちに気にならなくなりました。周りの人々の協力を得てタカの彫刻ができました。みなさんに、ありがとうの感謝の気持ちでいっぱいです。



長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

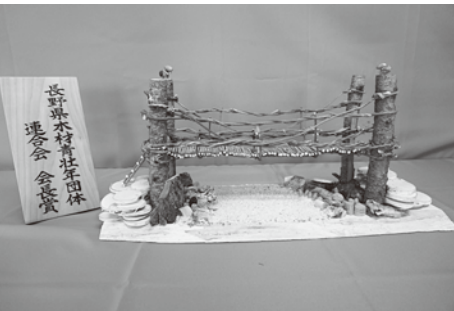
つりばし

茅野市立宮川小学校5年 向山 恭平

ゴールデンウィークに、家族で浜松の山の公園へ行くと、とても長い「つりばし」がありました。すごく揺れて、こわくて、でも楽しかった思い出がありました。だから木工工作コンクールで絶対に作ってみたいと思いました。

「つりばし」の揺れる感じができるようにするのが難しかったのですが、「つる」を使えば曲線ができることが分かりやってみました。でも、曲げると折れたり、割れてしまったりして何度もやり直したのが大変でした。

どんぐりで「りす」と「とり」を作ったのがとても楽しかったです。「つりばし」を渡っているのは、「ぼく」なのですが、少しこわがっているように作りました。自分の考えていた作品が作れたので、満足しています。



信州山の日イベント2015[木工教室]事業報告

事業報告書

【事業名称】信州山の日イベント2015 木工教室

【実施日時】平成27年7月26日(日) 10:00～16:00

【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に信州山の日PRや木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

【事業内容】長野県林務部が主催する「信州山の日イベント2015」で木工教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 100セット

《1回毎の講座内容》 イス作り開始(50分) ※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

《準備品》 イスキット100セット／道具(カナヅチ、釘抜き等)／テント(3間×4間)1張

釘、紙やすり／コンパネ 10枚／ブルーシート／掃除道具／受付簿、整理券

【スケジュール】7月27日 9:00～ 集合・材料搬入

10:00～16:00 木工教室

16:00～ 片づけ、搬出

【当日風景】



《木工教室開催時間》

1回目 10:00～10:50 [20組]

2回目 11:00～11:50 [20組]

3回目 12:30～13:20 [20組]

4回目 13:30～14:20 [20組]

5回目 14:30～15:20 [20組]

信州環境フェア2015[木工教室]事業報告

事業報告書

【事業名称】信州環境フェア2015 木工教室

【実施日時】平成27年8月22日(土)～23日(日)

10:00～17:00 ※最終日16:00まで

【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使われ方などを知っていただく。

【事業内容】信州環境フェア実行委員会、長野県地球温暖化防止活動推進センターが主催する「信州環境フェア2015」で木工教室・木育教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット) 2日間 110セット(予備10セット)

《1回毎の講座内容》 ①森林の話(2分) ②イスの作り方(3分) 木青連 ③イス作り開始(45分)

※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

《準備品》 イスキット110セット／道具(カナヅチ、釘抜き等)／釘、紙やすり／コンパネ10枚／ブルーシート／

掃除道具／受付簿、整理券

【スケジュール】8月21日 16:00～17:00 材料搬入

8月22日 10:00～17:00 (9:30集合)

8月23日 10:00～16:00 (9:30集合)

16:00～ 片づけ、搬出

【当日風景】



《木工教室開催時間》

1回目 10:30～11:20 [10組]

2回目 11:30～12:20 [10組]

3回目 13:30～14:20 [10組]

4回目 14:30～15:20 [10組]

5回目 15:30～16:20 [10組]

※最終日5回目は無し

平成27年度事業実施報告書



北信木青連 会団長
澁澤 一吉

例年ならば秋口で終わる木工コンクールであるが、今回は全国の審査会ということもあり、2月までの延長である。今迄は北信から県に行くだけで、相当なレベルアップだと思っていたが、今回は全国レベルを正に目の当たりに出来る機会であった。夏休み後各学校に作品を取りに行くときは、「子供らしくていいんじゃないかな」と思っていたが、実際に全国の作品を見ると、これは大人でもちょっと出来ないんじゃないか、と思われる作品が所狭しと並べられ、木工作品に込められた子供たち(親も?)の情熱が感じ取られた。数ある事業の中でも「木工コンクール」はやはりメインになるのだなと実感させられた気がし、全国から選ばれた作品を、是非世間に広めていくべきだと強く感じました。

北信木青連 PR事業 事業報告

- ①事業名 御開帳記念箸作り(駅ビルMIDORI)
- ②日時 平成27年5月30日(土) 10:00~15:00
- ③場所 長野駅ビルMIDORI
- ④参加人数 100名
- ⑤内容 箸作り



- ①事業名 いいやま花フェスタ木工教室
- ②日時 平成27年10月4日(日) 10:00~15:00
- ③場所 飯山市雁木通り
- ④参加人数 30名
- ⑤内容 県産材によるミニ椅子作り(椅子キット)



さて、その作品たちのお披露目となる、福井全国大会が迫ってきている。他の全国大会は中々行く機会に恵まれなかったが、今回は地区ということもあり、是非参加したいところである。沢山の事業の中でも、やはり木工コンクールに関しては、自分で選んだわけではないが、選定に関わったというだけで楽しみなところである。今年を振り返ってみると、通常の椅子作りの木工教室のほかに、御開帳や長野びんずるで箸作りをしたりと、通年より多かったようだ。椅子よりもかえって箸のほうが、大勢が出来、さらに小さな子供でもとつきやすく、とても良い機会だったのではないかな。年々会員人数も限られ、やる場所やイベントも限られて来ているが、少ない労力でも、少しずつ木工教室を行えば、木に触れる機会が増え、木や木を加工することに興味をも持ち、木工コンクールの存在や、優秀作品を知ってもらえば、すこしづつでも今まで以上に応募が増えて作品のレベルも上がってゆくのではなかろうか。その辺を来期も注力してゆきたい。

- ①事業名 長野びんずる箸作り
- ②日時 平成27年8月1日(土) 12:00~16:00
- ③場所 長野市TOIGO広場
- ④参加人数 50名
- ⑤内容 箸作り



- ①事業名 城東小学校親子木工教室
- ②日時 平成27年11月7日(土) 9:00~14:00
- ③場所 長野市三輪
- ④参加人数 30名
- ⑤内容 県産材によるミニ椅子作り(椅子キット)



平成27年度事業実施報告書



東信木青連 会団長
土屋 善樹

新入会員ながら東信木青連の会団長という大役を任せられ会団を引っ張るというよりは活動を通して勉強していく1年となりました。4月下旬に開催された県会員東信大会、ゴールデンウィーク中の佐久バルーンフェスティバルへの木工教室出展、そして5月上旬に開催された第1回定例理事会と入会してすぐに短期間で多くの活動が行われ、目まぐるしく時が過ぎていったことを思い出します。佐久バルーンフェスティバルは今年度、新佐久市合併10周年記念大会という事で例年2日間のみの出展のところ3日間出展したわけですが、好天に恵まれたこともあり無事予定数をこなすことができました。そして長野県児童・生徒木工工作コンクールにおいては初め

てにもかかわらず地区担当者を任せられ不安でいっぱいでしたが、周りの先輩方に助けられたおかげで滞りなく審査を進めることができ、そのうち10点を県審査会まで持っていくことができました。ある小学校では1校で130点も出品しており、審査が大変でしたが子供たちの熱意に驚かされました。上小支部では木工教室、木工工作コンクール地区表彰式、そしてミニチュアハウス作りと例年以上の盛り上がりを見せました。そして今年度は日本木青連の活動が何回か長野県で開催され参加させて頂きました。県の活動ですら初めての私にとっては大変な部分もありましたが、逆によい刺激となりました。来年度は引き続き会団長を務めることとなりました。おぼつかない点も多々ありますが今年度培ったことを踏まえて木青連活動に邁進して参りたいと思います。最後になりますが、先輩方や会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

東信木青連 PR事業 事業報告

- ①事業名 佐久バルーンフェスティバル2015[木工教室]
- ②日時 平成27年5月2日(土)~4日(月・祝) 9:00~17:00
- ③場所 佐久市 千曲川スポーツ交流広場
- ④参加人数 420名
- ⑤内容 県産材による小椅子づくり(イスキット)



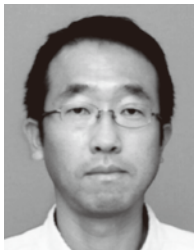
- ①事業名 上小地区木工工作コンクール表彰式
- ②日時 平成27年11月28日(土)
- ③場所 上小木協会館
- ④参加人数 95名(保護者含む)
- ⑤内容 上小地区での児童生徒木工工作コンクール表彰式



- ①事業名 上田市立北小学校木工教室
- ②日時 平成27年7月27日(月)
- ③場所 上田市立北小学校
- ④参加人数 61名
- ⑤内容 北小学校での親子木工教室 ミニチュアハウス組立、鍋式作り



平成27年度事業実施報告書



松本材青会 会団長
降幡 聡

本年度は15社17名で活動して参りましたが、予定しておりました事業はすべて無事、行うことができました。

振り返ればあつという間の一年でした。

開催したすべての木工教室は大変好評をいただき、「来年もありますか?」と御期待の声も数多く聞くことが出来ました。特に次代を担う子供たちの木への関心は年ごとに増していくように思います。それはデジタル機器が氾濫し、情報が自由に手に入り、Enterキー一つですべてが完了してしまうこの時代に子供たちは自分の手で、しかも「自然の素材」を使って、物を造るという作業がどれほど新鮮で楽しいことなのかを感じてくれています。

そして木工教室ではその匂いや温もりから「自然の素材」である木のすばらしさを体感した子供たちの生き生きとした表情を見ることが出来たことが、何よりの成果だったと思います。大人になった子供たちがさらに耐久性や汎用性の高さなど「木」の持つ特殊性の理解を深めることにより、広く日本古来の「木」の文化が再考されると信じています。

28年度の全国大会は北信越の福井県で開催されます。木業界ならびに木青連のますますの発展のためにも無事の成功を祈るばかりです。

最後になりますが、本年の活動が滞りなく進められたのは本会団会員と県会員ならびに関係各位のご協力があったことと思います。ここに心から感謝申し上げます。

1年間大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

松本材青会 PR事業 事業報告

- ①事業名 親子木工教室(松本農林業祭り)
- ②日時 平成27年9月12日(土) 9:00~16:00
- ③場所 松本市 あがたの森公園
- ④参加人数 約100人(来場者数)
- ⑤内容 椅子づくり体験 50セット
県産材による椅子作り
※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



- ①事業名 ものづくりフェア2015長野
- ②日時 平成27年10月31日(土)~1日(日) 9:00~17:00(最終日16:00まで)
- ③場所 松本市 職業訓練校体育館
- ④参加人数 400人
- ⑤内容 県産材による椅子作り



- ①事業名 ものづくりフェスタ 波田
- ②日時 平成27年10月24日(土)
- ③場所 松本市 波田体育館
- ④参加人数 100人
- ⑤内容 県産材による椅子作り



- ①事業名 木工教室出前講座
- ②日時 平成27年11月6日(金)・12月2日(水) 13:00~14:00
- ③場所 松本市中山小学校・松本市鎌田小学校
- ④参加人数 50人
- ⑤内容 県産材による椅子作り

長野県木青連 平成27年度 理事予定者会議 議事録(案)

日時／3月28日(土) 場所／ささや

【出席者】		議長指名	会長より代行副会長欠席の為、寺西副会長を指名
◎会長	田中 俊章	議事録作成指名	田村事務局長予定者
直前会長	宮川 秀紀	定足数確認	理事10名中、出席9名 委任状1名 欠席1名 成立致します。
監事	瀧沢 良夫	字句訂正	物故者の確認について、対象 会長及び歴代会長→現会員及び歴代会長に訂正出向者(案)、木育推進委員会→木材利用推進委員会に訂正
監事	大蔵 俊介(欠席)	第1号議案	H27年度事業計画(案)承認の件
◎代行副会長	深澤 猛(欠席)		田中会長より上程 事業計画・役員・出向者・職務分担・事業日程の説明詳細
◎副会長	田中 雄介		事業計画の木青連が主催し、各単位会団、個人会員に協力を依頼して行う
◎副会長	寺西 勝		事業より、木青連ハブ化計画、WEBやSNSを活用した会員内交流と情報発信の追加。
◎北信木青連 会团长	澁澤 一吉		事業日程にて、今年は日本木青連の日程に合わせて長野県木青連の日程が動く。
◎北信木青連 副会团长	山崎 泰雄(欠席)		5/9第1回理事会と北信越協議会の同時開催。合わせて善光寺御開帳に参拝し来年の福井大会成功祈願をしたい。7/11日本木青連第3回理事会と長野県木青連第2回理事会を軽井沢にて同時開催したい。9/19北信越地区石川大会と日本木青連第4回理事会の同時開催を検討。
◎東信木青連 会团长	土屋 善樹		意見等 ・新井会長補佐予定者H27年度出向者(案)で副委員長も理事挙手にて採決
◎東信木青連 副会团长	田中 雄介		挙手多数 承認
◎松本材青会 会团长	降幡 聡	第2号議案	H27事業予算(案)承認の件
◎松本材青会 副会团长	赤羽 洋紀(欠席)		田中会長より上程 収支予算・会費明細・会団PR会費拠出額の説明
◎事務局 長	田村 紘一		詳細 会員人数は40人の計算。収支予算の収入の部より、販売事業収入がH27年度はない。H26年度の決算がまだの為、前期繰越金は仮の100万円。支出の部より、IT関連費についてホームページサーバー変更により年会費が安くなり、3万円から5万円になった。事務局費の印刷費にて、封筒在庫切れの為例年より5万円アップ。
事務局次長	山浦 豊弘(欠席)		挙手にて採決 挙手多数 承認
事務局次長	白石 直仁		第3号議案
事務局主事	松本 寿弘(欠席)		全国会員福井大会実行委員会出向(案)承認の件
日本木青連 出向 会長補佐	新井 藤弘		田中会長より上程 実行委員会出向・事業内容・日程・収支予算の説明
日本木青連 出向 副会長	小林 稔政(欠席)		詳細 通常予算では全国大会の運営費はまかなえない為、木青連基金より50万円の補助。
日本木青連 出向 専務理事	島田 直政(欠席)		挙手にて採決 挙手多数 承認
日本木青連 出向 木育推進委員会委員長	中澤 勝成(欠席)	第4号議案	第56回県会員東信大会開催(案)承認の件
日本木青連 出向 木材利用推進委員会副委員長	印出 晃		田中会長より上程
日本木青連 出向 木育推進員会副委員長	瀧沢 良夫(欠席)	第5号議案	平成27年度第1回理事会開催(案)承認の件
オブザーバー	日野原和仁		田中会長より上程
出席者数15名(◎印は理事)			詳細 5/9林業センターにて開催予定。北信越協議会との同時開催。善光寺御開帳参拝予定。
			挙手にて採決 挙手多数 承認

議事録作成人 H27事務局長予定者 田村 紘一

長野県木青連 平成27年度 臨時理事予定者会議 議事録(案)

日時／4月25日(土) 場所／ささや

【出席者】		議長指名	会長より土倉代行副会長を指名
◎会長	田中 俊章	議事録作成指名	田村事務局長予定者
直前会長	宮川 秀紀	定足数確認	理事10名中、出席9名 委任状1名 成立致します。
監事	瀧沢 良夫	字句訂正	なし
監事	大蔵 俊介	第1号議案	H27年度長野県木青連役員・出向者(案)承認の件
◎代行副会長	土倉 宜也		田中会長より上程 木青連役員・出向者変更箇所の説明
◎副会長	田中 雄介		詳細 代行副会長が深澤猛君から土倉宜也君に変更。
◎副会長	寺西 勝		監事が土倉宜也君から瀧沢良夫君に変更。
◎北信木青連 会团长	澁澤 一吉		日本木青連出向にて60周年記念事業準備委員会副委員長に土倉宜也を出向
◎北信木青連 副会团长	山崎 泰雄		意見等
◎東信木青連 会团长	土屋 善樹		・小林稔政常任理事副会長 本人(代行副会長)が人事で議長をやるのは適切ではなく、副会長に議長交代させるべき。
◎東信木青連 副会团长	田中 雄介		・田中会長 貴重なご意見ありがとうございます。土倉代行副会長から寺西副会長に議長交代
◎松本材青会 会团长	降幡 聡		
◎松本材青会 副会团长	赤羽 洋紀		

◎事務局 長	田村 紘一(欠席)
事務局次長	山浦 豊弘
事務局次長	白石 直仁(欠席)
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 会長補佐	新井 藤弘
日本木青連 出向 副会長	小林 稔政
日本木青連 出向 専務理事	島田 直政
日本木青連 出向 木育推進員会委員長	中澤 勝成
日本木青連 出向 木材利用推進委員会副委員長	印出 晃
日本木青連 出向 木育推進員会副委員長	瀧沢 良夫
オブザーバー	日野原和仁
出席者数20名(◎印は理事)	

	拍手にて採決 拍手多数 承認
※議長を寺西副会長から土倉宜也代行副会長に交代	
第2号議案	H27事業予算(案)承認の件
	田中会長より上程 収支予算変更箇所の説明
	詳細 会員人数は39名に変更。前期繰越金確定。以降は変更なし。
	意見等 ・島田専務理事 予備費を次年度繰越金となると近い将来、特別会計を頼る形に成りかねない。事業収入をどう増やしていくか、経費削減はないか、会長の事業収入計画を知りたい。
	・田中会長 販売事業収入がない分、東信会団事業から補いたい。日本木青連を支えながら、事業収入に繋げたい。経費削減も念頭に置き、積極的に販売事業収入に力を入れていきたい。
	・島田専務理事 長野木青連が継続していけるように。
	挙手にて採決 挙手多数 承認

議事録作成人 H27年度事務局長予定者 田村 紘一

長野県木青連 第1回定例理事会 議事録(案)

日時／5月9日(土) 場所／林業センター

【出席者】		議長指名	会長より 第1・3・4・5号議案は土倉代行副会長を指名
◎会長	田中 俊章	第2号議案	は寺西副会長を指名
直前会長	宮川 秀紀	議事録作成指名	田村事務局長
監事	瀧沢 良夫(欠席)	定足数確認	理事10名中、出席9名 本日の議事は成立致します。
監事	大蔵 俊介	字句訂正	別紙参照
◎代行副会長	土倉 宜也	第1号議案	平成27年度理事予定者会議・平成26年度臨時理事会・平成27年度臨時理事予定者会議・定時総会議事録(案)承認の件
◎副会長	田中 雄介		田中会長より上程
◎副会長	寺西 勝		挙手にて採決 賛成多数 承認
◎北信木青連 会团长	澁澤 一吉	※議長を土倉代行副会長から寺西副会長に交代	
◎北信木青連 副会团长	山崎 泰雄	第2号議案	平成27年度PRカレンダー幹旋事業(案)承認の件
◎東信木青連 会团长	土屋 善樹		土倉宜也代行副会長より上程
◎東信木青連 副会团长	田中 雄介(副会長兼任)		詳細 例年通り。去年は3000部の売り上げ。
◎松本材青会 会团长	降幡 聡		今年はそれ以上を目指し、少しでも収入が増えるよう幹旋していきたい。
◎松本材青会 副会团长	赤羽 洋紀(欠席)		挙手にて採決 賛成多数 承認
◎事務局 長	田村 紘一	※議長を寺西副会長から土倉宜也代行副会長に交代	
事務局次長	山浦 豊弘(欠席)	第3号議案	平成27年度第38回長野県児童生徒木工工作コンクール開催(案)承認の件
事務局次長	白石 直仁		寺西副会長より上程
事務局主事	松本 寿弘		詳細 例年通り開催。場所を上田市サントミュージーゼの予定だったが、会場が狭かった為検討中。
日本木青連 出向 会長補佐	新井 藤弘(欠席)		賞状にて努力賞を出しているが、ある学校より名前を書くのが面倒との意見があるので名前を書かない賞状にするか？
日本木青連 出向 副会長	小林 稔政		意見等 賞状を無くすとそれも問題が出てくるので変える事はない。
日本木青連 出向 専務理事	島田 直政		例年通りで。
日本木青連 出向 木育推進員会委員長	中澤 勝成		松本事務局主事→上伊那の青年部会が大変で辞めたいと意見が出ている。
日本木青連 出向 木材利用推進委員会副委員長	印出 晃		そうなった場合木青連で上伊那地区を対応できるか。また審査員の問題があり、先生方は選びたくなく外部にお願いしたいとの事。対策が必要。
日本木青連 出向 木育推進員会副委員長	瀧沢 良夫(監事兼任)		挙手にて採決 賛成多数 承認
日本木青連 出向 木育推進員会委員	白石 直仁	第4号議案	役員選考委員会設置(案)承認の件
	(事務局次長兼任)		田中会長より上程
	日野原和仁		詳細 第2回定例理事会にて審議。第3回定例理事会にて次年度役員の選出。
		第5号議案	挙手にて採決 賛成多数 承認
			第2回定例理事会開催日(案)承認の件
			田中会長より上程
			詳細 7月11日(土)軽井沢プリンスホテルにて、日本木青連理事会との同時開催。講演会・懇親会有り。
			挙手にて採決 賛成多数 承認
		協議事項	(1)木青連ハブ化計画①
			現在の情報共有・発信のツールの使用目的・方法を再確認し、対外的な発信と会員内の情報共有と発信を効率の良いものにしたい。
			(2)木青連ハブ化計画②
			今後長野県木青連Facebook・LINE によるSNSのグループ機能を有効利用したい。

議事録作成人 H27年度事務局長 田村 紘一

長野県木青連 第2回定例理事会 議事録(案)

日時／7月11日(土) 場所／軽井沢プリンスホテルウエスト にれの木

【出席者】		議長指名	会長より土倉代行副会長を指名
◎会長	田中 俊章	議事録作成指名	田村事務局長
直前会長	宮川 秀紀	定足数確認	理事10名中、出席9名 本日の議会は成立致します。
監事	瀧沢 良夫	字句訂正	P36信州山の日集合時間8:00→9:00に訂正
監事	大蔵 俊介〈欠席〉	第1号議案	第1回定例理事会議事録(案)承認の件
◎代行副会長	土倉 宜也		田中会長より上程
◎副会長	田中 雄介	第2号議案	挙手にて採決 挙手多数 承認
◎副会長	寺西 勝		第56回県会員東信大会収支決算(案)承認の件
◎北信木青連 会团长	瀧澤 一吉		田中副会長より上程
◎北信木青連 副会团长	山崎 泰雄		挙手にて採決 挙手多数 承認
◎東信木青連 会团长	土屋 善樹	第3号議案	第38回長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会・表彰式開催(案)承認の件
◎東信木青連 副会团长	田中 雄介		寺西副会長より上程
◎松本材青会 会团长	降幡 聡		詳細 会場が上田市サントミュージゼから東御市芸術むら梅野記念絵
◎松本材青会 副会团长	赤羽 洋紀〈欠席〉		画館に変更。
◎事務局 長	田村 紘一		・第3回定例理事会との同日開催。
事務局次長	山浦 豊弘〈欠席〉		・各学校へ配布するポスターは今年から共立プランニングより送って頂くようになったので、各会团长へ請求が届く。木工事業として1セット1500円のイスキットのチラシを一緒に送った。
事務局次長	白石 直仁		・審査会の選考方法にて、第二次審査で最優秀賞を決める際、今年から各部門で一番付箋の多い作品を最優秀賞にする。
事務局主事	松本 寿弘	意見	土倉さん→イスキットにて、販売・発送方法をきちんと決めたほうがいい。
日本木青連 出向 会長補佐	新井 藤弘〈欠席〉		松本さん→入金後発送の事例有り。注文のあった地区の各会団に作成から発送まで頼むか？配送は宅急便に頼むか？手探りの状態。
日本木青連 出向 副会長	小林 稔政〈欠席〉		土倉さん→木青連の収入にも繋がるので積極的に売っていきたい。
日本木青連 出向 専務理事	島田 直政〈欠席〉		松本さん→キットの種類の開発をして、販売手数料を稼いでいけたらいい。
日本木青連 出向 木育推進員会委員長	中澤 勝成〈欠席〉	第4号議案	挙手にて採決 挙手多数 承認
日本木青連 出向 木材利用推進委員会副委員長	印出 晃〈欠席〉		信州山の日イベント2015 木工教室事業計画(案)承認の件
日本木青連 出向 木育推進員会副委員長	瀧沢 良夫		田中副会長より上程
オブザーバー	日野原和仁	意見	田中会長→当日、長野県木青連ののぼり旗を立てた方がいいが見当たらない。
出席者数14名 (◎印は理事)		第5号議案	寺西さん→松本材青会にあるかもしれないので、探してあれば持っていく。
			挙手にて採決 挙手多数 承認
		第6号議案	信州環境フェア2015 木工教室事業計画(案)承認の件
			田中副会長より上程
			挙手にて採決 挙手多数 承認
			第3回定例理事会開催日(案)承認の件
			田中会長より上程
			詳細 木工工作コンクールとの同日開催。定例理事会の場所は未定。
			挙手にて採決 挙手多数 承認

議事録作成人 H27年度事務局長 田村 紘一

長野県木青連 第3回定例理事会 議事録(案)

日時／12月12日(土) 場所／上田市 ささや

【出席者】		議長指名	会長より第1,2,3,5号議案は土倉代行副会長を指名 第4号議案は寺西副会長を指名
◎会長	田中 俊章	議事録作成人指名	田村事務局長
直前会長	宮川 秀紀	定足数確認	理事10名中、出席9名 委任状1名 本日の理事は成立致します。
監事	瀧沢 良夫	字句訂正	P42PRカレンダー幹旋事業決算(案)
監事	大蔵 俊介		【支出の部】PRカレンダー諸費用 決算額30,000円→32,400円
◎代行副会長	土倉 宜也		支出合計1,267,640円→1,270,040円
◎副会長	田中 雄介		支出の部1,267,640円→1,270,040円
◎副会長	寺西 勝		手数料収入143,200円→140,800円
◎北信木青連 会团长	瀧澤 一吉	第1号議案	P52第4回定例理事会日程2/20(土)→2/27(土)
◎北信木青連 副会团长	山崎 泰雄〈欠席〉		H27年度第2回定例理事会議事録(案)承認の件
◎東信木青連 会团长	土屋 善樹		田中会長より上程
◎東信木青連 副会团长	田中 雄介	第2号議案	挙手にて採決 挙手多数 承認
◎松本材青会 会团长	降幡 聡		信州山の日2015【木工教室】収支決算(案)承認の件
◎松本材青会 副会团长	赤羽 洋紀		田中副会長より上程
◎事務局 長	田村 紘一	第3号議案	挙手にて採決 挙手多数 承認
事務局次長	山浦 豊弘		信州環境フェア2015【木工教室】収支決算(案)承認の件
事務局次長	白石 直仁		田中副会長より上程

事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 会長補佐	新井 藤弘
日本木青連 出向 副会長	小林 稔政〈欠席〉
日本木青連 出向 専務理事	島田 直政〈欠席〉
日本木青連 出向 木育推進員会委員長	中澤 勝成
日本木青連 出向 木材利用推進委員会副委員長	印出 晃
オブザーバー	日野原和仁

出席者数20名 (◎印は理事)

意見	土倉代行 →木工教室もマンネリ化しつつあり、その点はどうか？
瀧澤会团长→	箸作りをまたやるのかいいのではないかな。
土屋会团长→	新しく始めるのは大変な部分もある。
降幡会团长→	松本では学校での木工教室で本立てを作った。学校で作ってそのまま使うことができ、製作時間も椅子と同じ位。違うことを取り入れるのも面白いのではないかな？検討してみては？
挙手にて採決	挙手多数 承認

議長を土倉代行副会長から寺西副会長に交代

第4号議案	平成27年度PRカレンダー事業収支決算(案)承認の件
	土倉代行副会長より上程
詳細	来年へ向けての報告事項として、カレンダーだけではなく、LEDペンライトキーホルダーみたいなノベルティグッズ等あれば販路が拡大できるのではないかな。
意見	松本事務局主事→PRカレンダー諸費用の金額に消費税が抜けている。
挙手にて採決	挙手多数 承認

議長を寺西副会長から土倉代行副会長に交代

第5号議案	第4回定例理事会開催(案)承認の件
	田中会長より上程
詳細	2/28日に行われる日本の木工工作コンクール審査会のお手伝いをするという事で前日の27日に開催。スケジュールも審査会準備等に合わせる為未定。
意見	中澤木育推進委員長→審査会会場の北信木材センターをおさえてあるので、27日の午前中使うことができるのでしょうか。懇親会は遠方から越しになる方もいるので、宿泊場所も兼ねて市内のホテルで開催を検討中。
挙手にて採決	挙手多数 承認

議事録作成人 H27年度事務局長 田村 紘一

長野県木青連 第4回定例理事会 議事録(案)

日時／2月27日(土) 場所／北信木材センター

【出席者】		議長指名	田中会長より第1・3・4号議案は土倉代行副会長を指名
◎会長	田中 俊章	第2・5号議案は寺西副会長を指名	
直前会長	宮川 秀紀	議事録作成指名	田村事務局長
監事	瀧沢 良夫	定足数確認	理事10名中、出席8名 委任状2名 本日の会議は成立致します。
監事	大蔵 俊介〈欠席〉	字句訂正	P36 60周年記念事業準備委員会副委員長→60周年記念事業委員会副委員長
◎代行副会長	土倉 宜也		木材推進委員会→木材活用委員会
◎副会長	田中 雄介	第1号議案	H27年度第3回理事会議事録(案)承認の件
◎副会長	寺西 勝		田中会長より上程
◎北信木青連 会团长	瀧澤 一吉		挙手にて採決 挙手多数 承認
◎北信木青連 副会团长	山崎 泰雄〈欠席〉	※議長を土倉代行副会長から寺西副会長に交代	
◎東信木青連 会团长	土屋 善樹	第2号議案	H27年度PRカレンダー事業収支決算(案・再)承認の件
◎東信木青連 副会团长	田中 雄介		土倉代行副会長より上程
◎松本材青会 会团长	降幡 聡		挙手にて採決 挙手多数 承認
◎松本材青会 副会团长	赤羽 洋紀〈欠席〉	※議長を寺西副会長から土倉代行副会長に交代	
◎事務局 長	田村 紘一	第3号議案	H27年度児童木工工作コンクール表彰式収支決算(案)承認の件
事務局次長	山浦 豊弘〈欠席〉		寺西副会長より上程
事務局次長	白石 直仁	意見	降幡会团长→会場好評だった。
事務局主事	松本 寿弘		瀧澤会团长→一般の方にも全国の優秀作品を知ってもらえれば応募数が増え、質の向上がさらに上がるのでは？運営自体には問題ないと思う。
日本木青連 出向 会長補佐	新井 藤弘〈欠席〉		田中会長 →早い段階から木青連HPにて案内募集をし、今年のテーマである「ハブ化計画」ということでツイッターを使い情報発信していた。
日本木青連 出向 副会長	小林 稔政〈欠席〉		土屋会团长→1校で130点応募したところもあり、大変いい事業である。これからもっとPRをしていきたい。
日本木青連 出向 専務理事	島田 直政〈欠席〉		中澤木育推進委員長→全国出展数が約24,000点中長野県は5000点程と奈良県に続いて二番目。出展数が多ければそれだけ木にふれあうという事で良い事である。
日本木青連 出向 木育推進員会委員長	中澤 勝成		来年以降も今年の出展数より減らないよう、周知していただきたい。
日本木青連 出向 木材利用推進委員会副委員長	印出 晃		田中副会長→共立プランニングから各学校へ案内を送る形式を、今後も継続して頂きたい。ホームセンターで売っているキットでの作品が多くあるので、審査内容にキットは駄目と付け加えた方がいいのではないかな？
オブザーバー	日野原和仁		寺西副会長→賞状について、賞状をもらった子供が喜んでいる姿を見て、賞状もありだと個人的に思った。
出席者数15名 (◎印は理事)		第4号議案	挙手にて採決 挙手多数 承認
			平成28年度長野県木青連役員・出向者(案)承認の件
			田中会長より上程
			拍手にて採決 拍手多数 承認
		※議長を土倉代行副会長から寺西副会長に交代	
		第5号議案	平成28年度理事予定者会議(案)・県会員北信大会開催(案)承認の件
			土倉代行副会長より上程
			挙手にて採決 挙手多数 承認

議事録作成人 H27年度事務局長 田村 紘一